



謹賀新年



市民の目線に立って考え、信頼される議会に

滑川市議会議長 砂原 孝

「忘己利他」市制施行55周年 GO GO 滑川

滑川市長 中屋 一博

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで、輝かしい初春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の世相を漢字一つで表す年末の「今年の漢字」に「偽」が選ばれました。清水寺森貫主は「己の利のために人をだましてもいい」という嘆かわしい社会だ」と述べておられますが、同感であり、冒頭伝教大師のことばといわれる「忘己利他」と記したのもそんな思いからであります。暗いニュースが多くありましたが、本市では昨年六月、待望の市民交流プラザがオープンし、市内の方々に、憩いの場、多世代交流の場として大いに利用していただき、お蔭様で、入浴施設「あいらぶ湯」には、十二月末現在で九万人を超えるご利用がありました。また多目的ホールや研修室、軽運動室においても盛況にご利用いただいているところであります。今後も市民の皆様から末永く愛され、親しまれる施設となるよう引き続き施設運営に努めてまいります。

また、昭和六十年から二十二年余の歳月と巨費を投じてきました滑川駅南土地区画整理事業は、関係各位のご指導とご尽力により八十二・三ヘクタールの整備が終了し、個性豊かな魅力ある街並みが創出できましたことに深く感謝を申し上げます。

昨年十二月六日、滑川高校野球部竹嶋祐貴選手の読売巨人軍入団発表が行われました。本市関係者のプロ野球入団は初めてであり、高校生諸君はもとより市民に大きな夢と希望を与えてくれたと思います。

さて、二〇〇八年度与党税制改正大綱に住民税の一部を寄付する「ふるさと納税」や法人事業税の再配分が盛り込まれました。しかし、偏在が少なくない地方税体系をどう構築するかという根本的な課題は積み残されたままであり、その上、地方交付税については相当の減収が予想され、やはり厳しい財政運営を余儀なくされるものと思慮しております。

しかしながら今年には市政施行五十五年になります。「ゴーゴー滑川」を掲げ、中心市街地の活性化、市民の健康・福祉や環境、安心・安全の確保や教育施策の推進等には引き続き積極的に取り組んでまいります。

また、健全財政の確立を基本に、徹底した経費の節減合理化や財源確保の工夫、効率的な実施方法の検討など、あらゆる施策に創意と工夫を凝らし、自助、共助、公助の理念のもと、市民の皆様と協働の力で小さくともキラリと光る「日本一の福祉都市」の実現に向けて全力で市政運営に努めてまいります。

皆様方のご繁栄とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、日頃から市政に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

お陰をもちまして昨年も着実に発展への基盤を固めてまいりましたが、ここに新年を迎え、本市の一段の躍進を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

さて、本市の財政を取り巻く環境は、国の三位一体の改革に伴う補助金の削減と交付金や地方交付税の削減などにより、実質公債費比率（借金返済費による財政負担の割合）を判断する指標が20%を超えるなど、地方財政健全化法に基づく四指標の早期健全化基準をクリアしているものの、極めて厳しい財政運営を強いられております。

議会としては、本市の健全な財政運営を求めるとともに、市民福祉向上のため、市当局と切磋琢磨し、気持ちを一段と引き締めるとともに、市民の切実な声を市政に反映させるため、当局に提言していかなければならないと考えております。

こうした中であって、昨年6月にオープンした市民交流プラザが、当初の予定を大きく上回る市民に利用されていますことは、たいへん喜ばしいことであり、これからも、お年寄りから子どもまで、障害のある人もない人も共に交流する施設として、親しまれ、利用されることを願うものであります。

ところで、昨今の異常な原油価格の高騰は、我が国経済の先行きを不透明なものとしているばかりか、企業活動はもとより市民の生活全般にわたる大きな影響を与えています。

このことは、お年寄りなどの年金生活者や、母子・父子世帯などの生活弱者と言われる世帯により多くの影響を与えております。

議会では、このような社会情勢にあつて、議員が一丸となつて、より豊かで住みよいまちづくり、市民が幸せを実感でき、将来に希望の持てる地域社会づくりのため、常に市民の目線に立って考え、信頼される議会を目指して取り組むべく、決意を新たにしているところであります。

どうか、議会に対し本年も相変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、心からお祈り申し上げますとともに、新しい年が、皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

2007年を振り返る

2007年の主な出来事や話題を振り返ってみました。そして、2008年を新たな気持ちで迎えましょう。



竹嶋祐貴投手（滑川高校3年）が巨人から指名



「あいらぶ湯」の利用者が5万人を突破



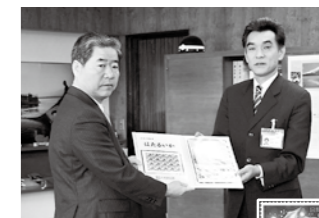
深層水足湯がオープン



市民交流プラザがオープン



市老人福祉センター「寿泉閣」が開館



ホタルイカの「ふるさと切手」を寄贈

- 1月** 344人の門出を祝う成人式市産業青年部が車いすを寄贈
- 2月** 「橋場・瀬羽町地区の再生」まちづくりシンポジウムを開催
- 3月** 市民水泳フェスティバル開催
- 3月** 市政功労者15人を表彰
- 3月** ホタルイカの「ふるさと切手」を寄贈
- 4月** ほたるいかミュージアムの来館者が70万人を突破
- 4月** 新コミュニティバス入魂式
- 4月** ほたるいか海上観光5/6守内はるさん（下野）100歳の誕生日
- 4月** 春のホタルイカ祭り開催
- 5月** 石崎産業（株）が自動演奏機付グラインドピアノを寄贈
- 5月** 滑川ライオンズクラブがフィットネス機器一式を寄贈
- 6月** 市老人福祉センター「寿泉閣」が開館
- 6月** コミュニティバス（のるるmy car）が発売
- 6月** 市民交流プラザがオープン
- 6月** なめりかわ食育フェア開催
- 7月** 長野県小諸市（姉妹都市）から小諸八重紅枝垂桜を寄贈
- 7月** サイエンスフェスティバルinなめりかわ開催
- 7月** 東福寺野自然公園に大型遊具（35mのローラー滑り台・展望台）登場
- 8月** 深層水足湯がオープン
- 8月** ふるさと龍宮まつり開催
- 8月** 「奥の細道」滑川サミット開催
- 8月** アクアポケットの利用者が5万人達成
- 9月** 「あいらぶ湯」の利用者が5万人を突破
- 9月** 市環境フェア開催
- 10月** 竹嶋祐貴投手（滑川高校3年）が巨人から指名
- 10月** ほたるいかマラソン
- 10月** ふるさと林道黒川線竣工式
- 11月** 福寿大学開講40周年記念式典
- 11月** 除雪ドーザー入魂式と除雪安全祈願式
- 12月** 滑川駅南土地区画整理事業完成記念式典
- 12月** なめりCANクラブ、メリなめりCAN開催